

□減俸小唄

(四
八卷)

原作並脚色者
監督者
撮影者

帝キネ

上代勇

澤江道映

石富進

太郎

吉潤

郎

最初は七巻に完成されたものな、第四百五話に縮少する。後半にそれが甚しい。改歴然と残つてゐて、筋が甚だ通り難くなつてゐる。部分的に真さは認められる。主人公のランダムには、子供同志の遊びを見せたりするのではなくはない。さしてもそつ場は利いてゐた。だが、結局カットされてあ相もない前半に於いてすら、そのダルな氣分は救はれない。もしも少しスピード! デイに運んだら、一寸した正喜劇が出来たかも知れない。桂珠子が素直ない、演技を見てゐるのは意外な収穫だ。今後の指導よろしきを得れば賣り出すこの充分出来る女優だ。

(七月八日 常盤座)

與行儀値——減俸小唄などとは不景氣な、好みくない響きだ。そして内容も至つて貧弱、添物喜劇としての役目も重過ぎるだらう。

(七月八日 常盤座)